

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科：芸術 科目：美術Ⅰ 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 1組～9組
使用教科書：（美術1 光村図書）

教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図にもとづいて表現するための技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするため、幅広い知識を深め、表現における創造的な技能を身に付けるようにする。	表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方の能力を相互に関連して高めていけるようにする。	学習に主体的に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情や豊かな感性を育むとともに、美術を通して生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵・ 彫	デ	映							
1 学 期	オリエンテーション 鑑賞	【指導事項】 ・美術の授業について ・年間授業計画の説明 ・教科書に掲載作品の鑑賞 【教材】 ・教科書 ・参考資料 ・プロジェクター拡大画像				○	【思考・判断・表現】 「鑑」作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「鑑鑑」美術や美術文化に関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞・創造活動に主体的に取り組もうとしている。			○	○	1
	身近なものを描く<鉛筆画> 【知識及び技能】 身近なものを表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、鉛筆の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 対象物を観察することから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・さまざまな描画材料 ・鉛筆デッサンの用具・材料 ・基本的な形の捉え方 ・パースについて ・構図を考える ・光の方向を考え陰影をつけながら、対象物を観察する ・作品の充実度を見極める ・納得するレベルまで完成度を高める ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・パネル等水張り用具一式 ・DVD ・鉛筆画用具一式 ・資料プリント	○		○	【知能・技術】 「知」形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴など全体的に捉えることを理解している。 「技」意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現を工夫し、主題を追求している。 【思考・判断・表現】 「発」対象物を見つめ、感じ取った特徴などから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性など考え表現を練っている。 「鑑」身近なものを描いた作品のよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図などについて考え深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをとに表現の創造活動に取り組もうとしている。 「鑑鑑」主体的に身近なものを描いた作品のよさや美しさを感じ取り、作者の思いなど考える鑑賞の創			○	○	○	11
	立体表現<石彫> 【知識及び技能】 彫刻の形体、量感や質感、動勢やマッサなどの造形要素等について理解し、材料や用具を活用しながら創造的な表現の構想を練る。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、質感などの表現を工夫し、主体的に主題を追求しながら心の中の感情を表すイメージの構想を練り、創造的に表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい視点で主体的に見つめる姿勢を醸成し、作者の心情や表現意図と表現の工夫などの感じ方を深め、創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・彫刻の美の要素 ・彫刻の表現と材料の種類 ・主題の生成 ・材料・用具の特性・使用方法 ・制作工程 ・構想を練る ・作品の充実度を見極める ・台座の工夫 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・DVD ・資料プリント ・ペーパークラフト用具一式	○		○	【知能・技術】 「知」形・材質から伝わる特性を自分なりに分類でき、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて材料の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」主体的に彫刻の調和や効果について、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 「鑑鑑」主体的に彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			○	○	○	10
	美術館を楽しむ	<夏季休業中課題>レポート作成				○				○	○	○

2 学 期	立体表現<石彫> <1学期参照>	【指導事項】 【材料】 <1学期参照>	○		○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 <1学期参照>	○	○	○	10
	平面構成 <植物の幾何学図形での表現> 【知識及び技能】 「植物」を題材にして、色彩、構図などの持つ働きを理解し、伝えたい目的に応じて吟味し創意工夫して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 「植物」を深く観察し、調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、幾何学図形という表現形式の特性などを理解して心豊かに発想し、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の面白さを理解し、自分や他者の作品を通じて作者の意図や工夫を知り、主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・紙の種類 ・絵の具の種類 ・筆の種類 ・配置の法則 ・構成と構図 ・色彩について ・着彩の種類 ・溝引き、烏口等道具の表現と使い方 ・作品の充実度を見極める ・さし色、きき色の効果を検討 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・パネル等水張り一式 ・着彩用具一式			○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 【知能・技術】 「知」 植物の題材を通して、色や形、五感を通して感じる事などを観察・思考する中で、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫し、デザインの特徴を生かして、目的や計画を基に創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」 制作を通じ、美しさなどを考え、主体的に主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」 幾何学図形という表現形式の特性などについて考え、その表現のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」 植物から受ける印象やデザインの工夫について考え、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」 デザインのよさや美しさを感じ取り、そこに込められた意図を汲み取って見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	美術館を楽しむ<発表> 【知識及び技能】 作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力】 よさや美しさなどのように表れてくるのかを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞を通し創作活動に主体的に取り組む。	【指導事項】 ・レポートの発表 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作家や作品の見方や感じ方を深める 【教材】 ・レポート ・プロジェクター ・感想シート			○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 「知」 作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解している。 「鑑」 よさや美しさなどのように表れてくるのかを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態鑑」 鑑賞の創造活動や発表に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
3 学 期	版を用いて表現 <エッチング> 【知識及び技能】 生徒自身の活動した痕跡を残すという視点から、凹版の方法、技法について理解し、版画の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 凹版の特徴からどのような表現が可能か、イメージを膨らませて主体的に主題を生成し、自身の「美の在り方」の理想を追求するために構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に計画を立てることで見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・版画の種類 ・凹版の中のエッチングの特徴 ・エッチングの手順 ・道具の種類、扱い方 ・転写の手段 ・製版方法 ・作品の充実度を見極める ・印刷方法 ・版を重ね、納得するレベルまで高める ・版画におけるサインの入れ方、ルールについて ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・銅版画用具一式	○		○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 「知」 凸版、凹版、平版、孔版等の方法、技法について、それぞれ特徴など、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」 自分の意図や表現対象に応じて、表現方法を創意工夫して主題を追求し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」 凹版の特徴から、どのような表現が可能かのイメージを膨らませて主体的に主題を生成し、表現の構想練っている。 「鑑」 版画による表現のよさや美しさを感じ取り、表現者が何を表そうとしたのか、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」 自分の「何を」「どのように」痕跡を残すことができるのかを思考し、それに合わせて主体的に表現に取り組もうとしている。 「態鑑」 作品の鑑賞を通してよさや美しさを感じ取り、鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	展示 まとめ「これからの私と美術」	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「美術とは何か」について1年間の学びとともに振り返る			○					1 合 計 70